

## 第2回 OECD セミナー

5月28日、GスクエアでOECD Student Ambassadorの第2回セミナーが行われました。内容は以下の通りです。

### 1. OECD Student Ambassador による貿易自由化政策の説明

まず、私たちからOECDが行っている貿易自由化政策について説明しました。

#### ・貿易自由化

貿易自由化とは、貿易の際にかかる関税を排除して、より安価にそして自由に貿易を行おうとする動きのことを言います。関税を排除することにより、自国の輸出物を他国に輸出しやすくなったり、他国の商品を安価に輸入できるメリットがある反面、安価な商品に自国の商品が勝てず、自国の生産者を、守れないのではないかというデメリットがあります。

#### ・TPPとOECD

TPPとは環太平洋戦略的経済連携協定の略であり、環太平洋地域の国々が連携して貿易自由化を目指すものです。OECDはこのTPPに日本が参加することによって、日本経済が復活し、それが世界経済の復活につながるとして、日本にTPPへの参加を促しています。

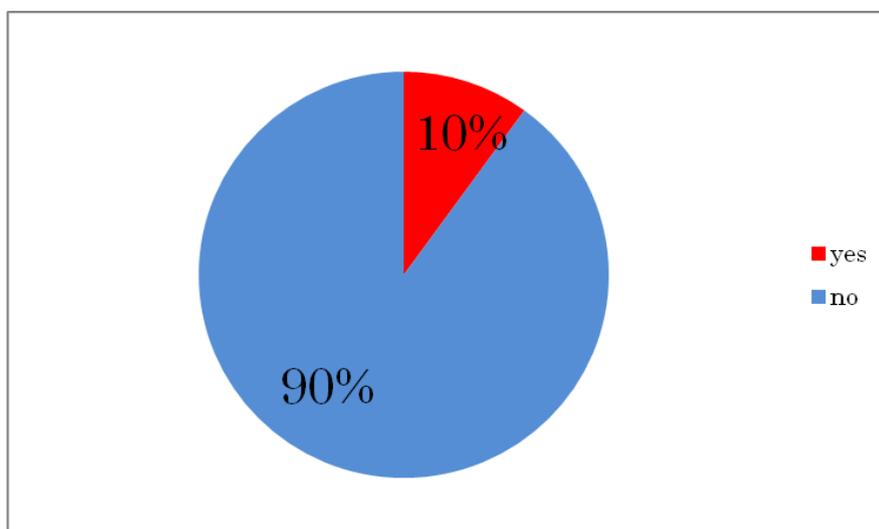
### 2. 発表を踏まえ参加者とのワークショップを実施

参加者を少人数のグループに分け、実際に貿易の流れが体験できる「貿易ゲーム」というワークショップを行いました。参加者を先進国、新興国、途上国に分け、私たち学生大使はそれらの国の金銭を管理する世界銀行という役割につきました。まず参加者にはそれぞれの国の状況に応じた資源（紙、用具等）と資金を配分しました。各グループの目的はそれらの資源を用いていくつかの決められた形（製品）を作成し、それを世界銀行で換金することで資金を増やすことです。そのためには各国は、自分のもてる資源や資金を他国と交渉し交換する（貿易）など工夫が必要です。また実際の経済と同様にワークショップ途中には何度か市場変動によって製品の価格が変更されます。そうした状況のなかで参加者たちはそれぞれ力を合わせ楽しそうに取り組んでいました。

結果は以下のようになりました。1位：先進国、2位：新興国、3位：先進国…以下省略。これらの結果から、必ずしも先進国が常に有利な立場にあるとは限らず、貿易の取り組み方次第では新興国、途上国にも成長のチャンスがあるということもわかりました。

### 3. アンケート結果

参加者には OECD が何の略称かを問う簡単なアンケートに答えてもらいました。結果は以下のとおりです。



中大生にはまだまだ認知度が低いのが現状ですね…。もっと中大生に OECD について知ってもらえるよう引き続き努力してまいります。

以下は今回のイベントに寄せられた参加者の感想です。(一部)

- ・ワークショップがおもしろかったです！
- ・TPP がこれからどうなるのか楽しみです。来月もがんばってください。
- ・市場の変化があることによって世界規模での貿易で有利不利なくできるのだと思いました。